

令和 3 年度
自己点検・評価報告書

【対象期間】 自：令和 2 年 4 月 1 日

至：令和 3 年 3 月 31 日

令和 3 (2021) 年 4 月

学校法人創心会 西日本看護専門学校

本校では、自己点検・評価について、平成 29 年度まで「看護師等養成所の教育活動等に関する自己評価指針」に基づき、自己点検・評価を実施してまいりました。さらに、平成 30 年度からは、より良い自己評価を目指して、看護学校の学校運営としての評価の公表が適切であると判断し、文部科学省で策定された「専修学校における学校評価ガイドライン」に沿って、評価項目の改良・拡充を行い、現状・課題の把握並びに改善策の検討・実施を行っております。この自己点検・評価報告書は、令和 2 年度の自己点検・評価の結果を記したものです。

1. 学校の教育目標

- 1) 人間を、身体的・精神的・社会的・霊的に統合された、全人的存在として理解する能力を養う。
- 2) 人々の健康と生活を、自然・社会・文化的環境との相互作用の観点から理解する能力を養う。
- 3) 生命の尊厳と人々の多様な価値観を尊重し、豊かな感性を持ち信頼関係を築く能力を養う。
- 4) 健康や障害のあらゆる状態に応じた看護を、科学的根拠に基づいて実践するための基礎的能力を養う。
- 5) 保健・医療・福祉制度と、他職種の役割を理解し、チーム医療を実践するとともにコーディネーターとしての基礎的能力を養う。
- 6) 専門職業人として社会性・自立性を身につけ、誇りと責任を持ち、自ら学び続ける能力を養う。

2. 令和 2 年度に定めた重点的の取り組むことが必要な目標や計画

- 1) 教育活動充実のため、教員確保と研修受講
- 2) コロナ禍における教育環境の整備及び講義、実習の在り方の検討
- 3) アドミッションポリシーの明確化、単位未修得の学生への支援
- 4) 新カリキュラムへの取り組み
- 5) 防災についての規則見直しと調整

3. 評価項目の達成及び取組状況

1. 教育理念・目標

(1) 評価

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④	3	2	1
学校における職業教育の特色は何か	④	3	2	1
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	③	2	1
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	④	3	2	1
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④	3	2	1

(2) 状況および課題と改善策

教育理念に沿った教育目的、教育目標、卒業時の学生像については、学生便覧に明記し、ホームページに公開している。理念に「ひとり、ひとりを大切に心のこもった看護を実践する」を掲げ、目的を「看護の理論と実践を通して、専門職業人としての看護観を育て、優れた知識・技術に基づいて主体的に責任ある看護活動を行い、看護の発展に寄与できるための基礎的能力を修得する」としている。

毎年、新入生を迎えるにあたって、学生、保護者等に教育理念、目的、目標、卒業時の学生像について説明を行い、また、オープンキャンパスや学校見学会においては、本校の教育についての周知を図っている。

教育目標は、教育理念、目的と一致し、教育内容を網羅したものになっている。また、卒業生像については、教育目標に対応しており、本校の人材育成像がはっきりと読み取れるものになっている。

今年度から、シラバスに教育理念、目的、目標を掲載し、各講義開始時に関連性を説明している。

社会のニーズに向けての将来構想については、在宅医療の発展への方向性に対応できる教育内容である。また、学生のレディネスを把握しながら、社会人基礎力を充実していく教育を実施している。

令和4年度新カリキュラムに向けて、他職種との連携強化について再考していき、急性期病院以外にも慢性期・回復期病院での実習も視野に入れ、検討していく。

II. 学校運営

(1) 評価

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④	3	2	1
人事、給与に関する規程等は整備されているか	④	3	2	1
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④	3	2	1
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④	3	2	1
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④	3	2	1

(2) 状況および課題と改善策

本校は学校法人であり、理事会・評議員会が適切に開催され、学校法人の収支、寄附金の受け入れ、役員・評議員の選任に関する事等、理事会・評議員会にて決定している。

毎月運営会議を開催し、学校運営のすべてを会議にて審議している。教務会議は1週間に1回開催しており、教育に関する内容について協議し、決定している。また、これら会議の運営については、寄附行為及び学則に明記しており、諸規程、学則、細則、内規については、毎年定期的にすべて見直し、整備している。今年度は、私立学校法の法改正に伴い、寄附行為の見直し及び改正がなされた。

教育活動に関する情報は、本校のホームページにて公開しており、定期的に更新している。

各教職員へのパソコンの貸与と共に定期的なメンテナンスを行い、パソコン内に共有データを設け、業務の効率化を図れるよう運用体制を整えている。ただし、学生情報管理システムの構築がされていないのが検討課題である。

III. 教育活動

(1) 評価

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④	3	2	1
関連分野における実践的な職業教育（産業連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	②	1
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	③	2	1
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	④	3	2	1
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	④	3	2	1
職員の能力開発のための研修等が行われているか	④	3	2	1

(2) 状況および課題と改善策

カリキュラムに関しては、学科、実習すべて教育理念に沿った内容である。理念に沿って看護の心を育てる教育カリキュラムを組んでおり、コミュニケーション技術や人間関係論などの充実、また、看護観を育てるといった特色ある内容となっている。

実習においては、急性期病院での実習が充実している。あらゆるライフステージの人びとを理解するために、病院のみでなく様々な実習場所を確保し、理解を深めていける実習を組んでいる。また、学科、実習ともに実践とそのエビデンスが順序立てて学べるよう、カリキュラムは体系的に編成している。更に、令和4年度新カリキュラムに向けて、慢性期、回復期における実習の充実を図ることを計画している。

今年度、新カリキュラム構築のための参考として、カリキュラムアンケート・学習評価の分析を実施し、現状の把握と課題の洗い出しを行った。講義・実習では、シラバスによる学生への事前の提示、その後の指導の評価アンケートの実施、その結果の振り返りを行い、今後の指導の示唆を得て、次回に活かす一連の過程を実践している。

今年度は、研修で得た情報を効果的に活用し、新型コロナウイルス感染症予防対策を講じながら、学内での講義・演習・実習の方法を工夫し行った。学内実習においては、臨地実習との相乗効果が図れるよう工夫した。

単位認定については基準を定め、運営会議にて認定審議を実施している。実習に関しては、毎年指導者会議を複数回実施し、病院での指導内容や実習における全体的な評価を頂き、その後の実習指導に反映させている。

看護師国家試験に向けての指導体制については、カリキュラム内容（学科・実習）の充実を図るとともに、1年次後半より対策を実施しており、2年次では模擬試験の実施、3年次においては頻回な模擬試験の実施と個別指導や長期休暇期間における集団指導等を実施している。

教員研修に関しては積極的に推奨しており、今年度においては、新型コロナウイルス感染症予防対策のため対面研修が中止になり、リモートの研修が主となったことにより、研修に参加することができた。特に、新カリキュラム改正の研修は、多くの教員が参加することができた。今年度、計画していた教員養成講習会の受講は、新型コロナウイルス感染拡大により開催が中止となった。

教員2名の退職があったが、教員経験豊富な2名を起用することができた。

令和4年度改正の新カリキュラムの構築と新人教員の教育現場における支援が今後の課題となる。

IV. 学修成果

(1) 評価

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
退学率の低減が図られているか	4	3	②	1
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	③	2	1
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	④	3	2	1

(2) 状況および課題と改善策

国家試験の合格率・就職率ともに良好であることから、本校の教育水準は一定の水準に達していると言える。

退学については、その原因を追究し、日々指導を振り返り、学生の学校生活への指導に活かしており、退学する学生は少しずつではあるが、減少傾向にある。今年度は6名の退学者があり、その内4名が前期での退学となった。新型コロナウイルス感染症予防対策のため、年度前半は自宅学習が多く、学生同士の関係が希薄になったことが、多少影響しているのではないかと推察している。

卒業生の動向については、卒業年の8月にホームカミングデイを開催し、卒業生の近況と就職後の動向を情報収集している。また、卒業生が就職した病院に卒業生の近況について尋ね、情報収集をしている。しかしながら、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ホームカミングデイを中止せざるをえなかった。卒業後の学修成果については、主たる実習病院での指導者会議において、本校の卒業生の現状を情報収集し、分析した結果を演習等に組み込み、キャリア教育の改善を図っている。

V. 学生支援

(1) 評価

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1

学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	①
学生の生活環境への支援は行われているか	④	3	2	1
保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1
卒業生への支援体制はあるか	4	③	2	1
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④	3	2	1
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	②	1

(2) 状況および課題と改善策

学生の相談体制・経済的支援・健康管理・課外活動に対する支援等は十分整っている。相談体制については、面接計画も整っており、必要時には随時面接を実施している。経済的支援については、奨学金制度や公共職業訓練等の教育訓練などを活用している。さらに令和2年度から高等教育修学支援新制度の対象機関となった。なお、アルバイトは禁止し、公的支援給付金を受けられるよう支援を行った。

健康管理については、毎年5月に健康診査を実施し、健康管理について個別指導を実施している。また、インフルエンザ予防接種は学校負担で実施し、健康管理についての支援は、校医と協議しながら行っている。今年度からスクールカウンセリング室を開設し、学生の精神的支援を図っている。

新型コロナウイルス感染症予防対策を1年間通して計画し、実施した結果を評価し、学生及び教職員が感染することなく、健康に学校生活を過ごしている。教室・更衣室等の利用方法、サーキュレーターの購入など、生活環境の改善に取り組んだ。

課外活動は6つのクラブ活動が充実しており、ストレス発散や学びの場となっているが、今年度は活動を禁止した。保護者とは、学生の学習状況や、生活態度等の問題があるときに連携を取っている。また、年1回学生後援会を開催し、情報交換等を実施し、学校の情報公開に努めているが、今年度は書面会議となった。

新型コロナウイルス感染症の影響で、卒業生への支援が十分に行えなかった。

高校・高等専修学校等との連携については、積極的に出向き、キャリア教育・職業教育の取り組みを実施しているが、今年度は高校・高等専修学校等からの要請がなかった。

VI. 教育環境

(1) 評価

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④	3	2	1
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④	3	2	1
防災に対する体制は整備されているか	4	3	②	1

(2) 状況および課題と改善策

施設・設備・教育備品等については、定期的に点検し修繕、整備している。また、実習施設においては、教育環境について実習先と調整し、環境を整えていただいている。新型コロナウイルス感染症の影響により、学び方の変化が進んでいるため、DVD教材等を整備し、効果的に活用できるよう環境整備を行った。今年度 Wi-Fi 環境を整え、オンライン授業を早期に導入することができた。また、感染症対策における講義・実習の変更に柔軟に対応することができた。

令和3年度は、情報処理室のPCの台数を増やし、全てニューモデルでの入替を計画している。

防災訓練を毎年1回必ず実施しているが、充実した訓練を実施しているのは火災訓練のみのため、今後はあらゆる災害を見越した訓練が必要である。大雨による警報等で学校に留まらなければならなくなった場合を想定し、非常食等の準備を検討する必要性がある。

VII. 学生の受け入れ募集

(1) 評価

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
学生募集活動は、適正に行われているか	4	③	2	1
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1

(2) 状況および課題と改善策

令和2年度学生募集については、個別学校見学会の実施、ホームページに情報公開、学校案内・学生募集要項の配布、進学相談会の参加を行った。新型コロナウイルス感染症拡大のため、高等学校の訪問は行わず、電話にて学生募集を実施した。個別学校見学会、入学選考に際し、新型コロナウイルス感染症予防対策を講じ、実施した。令和3年度入学選考において、例年と比較すると受験者数の減少が見られた。令和2年度入学選考の際、高等学校より面接時の質問内容についてご指摘があったため、面接時の質問に対して再度確認をし、適切に実施した。18歳人口が減少する中、入学者確保のための有効な方策を検討していく必要がある。

VIII. 財務

(1) 評価

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④	3	2	1
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

(2) 状況および課題と改善策

ホームページに公開の財務諸表のとおり、学校の財政基盤は安定している。今後も学生数の確保を図り、継続して中期的な財政基盤の安定に努めていく。事業年度開始に当たって作成する予算について、教育機器・教材の購入を年間の予算に計上し、計画的・優先的に購入し、予算の編成及び執行は適正に実施している。監査の実施については、私立学校法及び寄附行為に基づき、監事による会計監

査が適切に行われている。財務情報は、事務局に決算書類等の帳票を備え付けるとともに、ホームページに公開している。

IX. 法令等の遵守

(1) 評価

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④	3	2	1
自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

(2) 状況および課題と改善策

保健師助産師看護師学校養成所指定規則、専修学校設置基準・看護師養成所の運営に関する指導ガイドラインの遵守と適正な運営を実施している。また、個人情報保護、ハラスメント防止等、規程を整備し、対策をとっている。

自己評価の実施は、自己点検・自己評価の委員を組織し、毎年実施しており、教職員全員が把握し、周知するよう指導している。自己評価結果については、ホームページに公開している。

X. 社会貢献・地域貢献

(1) 評価

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	2	①
学生のボランティア活動を奨励し、支援しているか	4	3	2	①
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	④	3	2	1

(2) 状況および課題と改善策

卒業生、医療従事者への図書室の開放、地域の講演等に本校の施設を開放するなど、学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っている。また、学生のボランティア活動を奨励、支援しているが、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、活動することができなかった。

福岡県専任教員養成講習会の講義・演習を引き受け、看護教員の育成に携わっている。コロナ禍において、本校が取り組める社会貢献・地域貢献の在り方を検討し、新しい取り組み体制を整えることが課題である。